



2 0 2 5 年 1 1 月 1 8 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

これまでの取り組みを力に 男女平等を推進しよう！

連合は、10月24日、東京都「よみうりホール」にて「2025 連合ジェンダー平等推進中央集会」を開催した。現地には構成組織・地方連合会等から714名（うち女性389名）、オンラインでは972名が参加し、JR 連合からも上村良成会長をはじめ15名が参加した。



冒頭の挨拶を行う芳野友子会長

今年では日本で1985年に男女雇用機会均等法が制定されてから40年の節目の年となる。冒頭、連合の芳野友子会長は、「これまでの先輩方の奮闘により、女性の働き方、生き方は、着実に変化してきた。今後、ジェンダー平等の実現に向けて、私たちは改めてこれまでの歴史を振り返り、未来へとバト

ンをつなげていかなければならない」と挨拶した。

早稲田大学の浅倉むつ子名誉教授の基調講演では、男女雇用機会均等法制定をめぐる議論や雇用分野に残されている課題、これからの労働組合に期待することなどが提起され、参加者は自分の会社や職場をイメージしながら聴き入った。

また、基調講演を受けて行われたディスカッションでは、男女雇用機会均等法制定前の職場実態、制定後の社会の変化、労働組合として制定に向けてどのような運動を展開し、職場にどう波及させたかといった議論があった。

これまでの取り組みを力に、さらに男女平等を推進するために未来へつないでいく視点などのアドバイスもあり、それぞれが組織に持ち帰り、自組織に合った形で取り組みを展開していくこととする。



当日参加したJR連合のメンバーと芳野会長